

## 平成30年度第2回 青梅市健康増進計画推進会議要録（概要版）

- 1 日時 平成31年2月25日（月） 午後1時30分から午後3時
  - 2 場所 健康センター1階 相談・指導室
  - 3 出席委員  
（委員）大木委員、土田委員、本間委員、岩浪委員、小林委員、宮口委員、野村委員、永井委員  
（事務局）橋本健康福祉部長（途中退席）、丹野健康課長、斎藤健康推進係長、榎島母子保健係長、塩野特定健診係長、若林健康推進係主任
  - 4 傍聴者 0人
  - 5 議事
    - (1) 開会
    - (2) あいさつ
    - (3) 議題
      - ア 青梅市健康増進計画にかかる取組状況調査について
      - イ 健康づくり・食育に関する市民意識調査について
      - ウ 青梅市自殺総合対策計画（素案）について
      - エ その他
    - (4) その他
    - (5) 閉会
- 資料一覧**
- ・資料1 …青梅市健康増進計画にかかる取組状況調査
  - ・資料2 …項目別件数一覧
  - ・資料3-1 …青梅市自殺総合対策計画（素案）へのパブリック・コメントによる意見募集について
  - ・資料3-2 …青梅市自殺総合対策計画（概要版）
  - ・資料3-3 …青梅市自殺総合対策計画（素案）
  - ・追加資料1 …第4次青梅市健康増進計画策定スケジュール（予定）

6 議事内容 (概要)

発言者	会議概要
健康課長	<p>(1) 開会</p> <p>ただ今から、平成30年度の第2回青梅市健康増進計画推進会議を開催いたします。式次第に従いまして会議を進行させていただきたいと存じます。</p> <p>なお、菊池委員につきましては、欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>本日司会を務めさせていただきます健康課長の丹野でございます。概ね3時閉会を目的に進行させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは次第の2、あいさつといたしまして、橋本健康福祉部長より御挨拶申し上げます。</p>
健康福祉部長	<p>(2) あいさつ</p> <p>健康福祉部長の橋本でございます。本日は大変お忙しい中、第2回目の青梅市健康増進計画推進会議に御出席を賜り、誠にありがとうございます。日頃から色々皆様には、青梅市の保健衛生行政に御指導御協力を賜りこの場を借りて御礼を申し上げます。</p> <p>さて、先日2月17日の日曜日には、第53回の青梅マラソンを無事終了することができました。色々御協力いただいたものと存じます。重ねて御礼を申し上げます。16,669人の大勢のランナーが青梅路を走ったわけですが、30kmの部では非常に速い新記録が生まれまして、2位との差があれだけ離れたのは、私も記憶にないくらいの速さでした。参考までに、30kmの部では93%の方が完走し、10kmの部では96%の方が完走したと聞いております。</p> <p>時期の健康増進計画の策定にあたりましては事前に市民アンケートの作成について、御意見をいただきありがとうございました。今週中には無作為に抽出した2,000の方を対象にアンケートを発送したいと考えております。</p> <p>本日は、計画に沿った各課の進捗状況、および青梅市自殺総合対策計画についても、御協議いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、関係いたします食育推進計画につきましても先週会議を開催しまして、色々な御議論をいただいたところでございます。</p> <p>大変簡単ではございますが、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
健康課長	<p>橋本部長におかれましては、この後公務のため退席させていただきます。</p>

事務局	<p>(3) 議題</p> <p>議事に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>～資料確認～</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。青梅市健康増進計画推進会議設置要綱第6項の規定によりまして、以後の議事進行につきましては、大木会長にお願いしたいと存じます。それでは、大木会長よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>インフルエンザが流行っておりますが、皆様体調の方は大丈夫でしょうか。早速ですが、今年度第2回目の推進会議になります。この会議は公開会議となっておりますが、本日は傍聴者がいないので、このまま議事に入らせていただきます。</p> <p>初めに「(1) 青梅市健康増進計画にかかる取組状況調査について」を事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～資料1について説明～</p>
会長	<p>平成27年度から続く青梅市健康増進計画にかかる、平成30年度の各課の取組に関する進捗状況を、平成31年度の度の予算要求も踏まえて御報告いただきました。御質問・御意見等がありますでしょうか。</p>
委員	<p>総合体育館の空調設備更新ということで説明がありましたが、今ついている空調がどのように更新されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>この事業につきましては、スポーツ推進課から報告を受けているところです。具体的な詳細までは把握しておりませんが、総合体育館自体が老朽化しておりますので、その改善に向けた修繕ということだと認識しております。</p>
委員	<p>なかなか広くて空調がきかなかったり、空調を運転してくれないという意見がありますので、改善されれば良いなと思います。</p>
委員	<p>予算は計上されていますか。</p>
健康課長	<p>計上されております。3月議会で承認されれば正式に予算化されます。</p>

会長	夏の熱中症のことを考えると、環境整備として大事な取組かと思います。
委員	<p>何点かお聞きします。</p> <p>1点目として、「良好」や「おおむね良好」というのは、何を基準にして評価をしているのでしょうか。</p> <p>2点目として、No. 55 に高齢者温泉保養利用施設助成事業が拡充される旨が書いてありますが、実際に青梅市民で宿泊として利用している人は何人で利用率は何%なのか。また、日帰りで利用している青梅市民は何人で、利用率は何%なのか。さらに、6枚以上発行した人は何人いたのか。延人数で記載されていますが、実人数でお答えください。</p>
事務局	<p>1点目については、評価基準に沿って、担当課の判断で評価していただいております。「良好」については、「すでに目標を達成している。」「目標を大きく達成する見込みである。」という評価基準です。「おおむね良好」については、「現時点まで目標どおり、もしくは同程度の達成状況である。」という評価基準です。「不良」については、「目標が達成できる見込みがない。」「当初の見込みよりも達成状況が遅滞している。」、もしくは「取組を実施していない。」という評価基準となっております。</p>
健康課長	<p>2点目についてですが、この助成事業は高齢介護課で実施している事業で、市民向けの事業なので青梅市民以外が利用することはないと思います。</p> <p>また、対象者数や利用した実人数については、今回そこまで標記を指定しておりませんが、今後必要に応じて把握できるか協議をしていきたいと考えております。</p>
委員	<p>小曾木と沢井にある高齢者用入浴施設が、利用率が3%しかないから平成31年3月末で閉鎖されると発表されているが、延べ人数で計算したら利用率はもっと増えると思います。実人数と延べ人数ではだいぶ印象が変わります。</p>
健康課長	<p>高齢介護課に確認をとり、この会議中に把握できれば後ほどお答えさせていただきます。</p>
会長	<p>他に意見はございますでしょうか。なければ私からひとつ伺います。以前の会議の中でも、体育施設のバリアフリー化が問題となっていたと思います。予算規模も大きくてなかなか難しいと思いますが、建て替えまで待たないといけないでしょうか。</p>

健康課長	<p>体育施設の大がかりなバリアフリー化ということは、スポーツ推進課からは聞いておりませんが、出来るところからということで、まずはトイレを洋式化するものと考えております。</p>
会長	<p>今後も、健康課とスポーツ推進課で連携していってほしいと思います。今日出していただいた資料は、あくまでも各課の実施状況です。この効果の評価は、市民の健康がそれぞれの指標でどのように変化したかを見なければいけません。それは次の議題で触れられると思いますが、市の事業がたくさんあるなかで、本当にその事業一つ一つが、計画の指標に結びつくのかを、次期計画の策定時には議論していった方がよいと思います。</p> <p>次に「(2) 健康づくり・食育に関する市民意識調査について」を事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～資料2について説明～</p>
委員	<p>この調査を実施して集計するだけでは意味がないので、その後どう生かすかをお聞かせください。</p>
会長	<p>現在の計画書もそうですが、調査結果の内容を精査したうえで、市の施策や目標を検討していると思います。調査結果は新しい計画書に掲載されると思いますが、市民の人が目にする機会は他にありますか。</p>
事務局	<p>計画書自体は、各市民センター等に設置したり、各事業での配布もする予定です。</p>
会長	<p>計画書が完成するのは1年先になりますよね。このアンケートを回答した人は結果が気になると思うので、結果をまとめたものが見れると良いと思います。</p>
事務局	<p>このアンケート結果については、ホームページで公開するようにいたします。</p>
会長	<p>次の会議でアンケート結果が示されると思いますので、その時また皆様に御議論いただきたいと思います。</p>

	<p>ところで、今回のアンケートにはかかりつけ薬局に関しては載せないのでしょうか。</p>
委員	<p>まだかかりつけ薬局の整備までできていないのが現状です。</p>
会長	<p>高齢者の方の重複処方が問題になっているようなので、ぜひ進めていただきたいです。</p>
委員	<p>薬剤師会ではキャンペーンのような取り組みは実施しています。あと、包括支援センターのケアマネージャーさんと一緒に、在宅の薬が複数の薬局から出ているのを一箇所にしましょうという取り組みをしています。現時点はそこまですて、その先のことはこれから検討していくことになります。</p>
健康課長	<p>次回の調査になってしまいますが、かかりつけ薬局についても検討していきたいと思います。</p>
会長	<p>在宅ケアのなかでも取り組みが進んできているので、ベースラインデータがあると、効果が評価しやすいと思います。</p>
委員	<p>かかりつけ薬局を知っている人はほとんどいない状態で、今は周知をしている状況ですので、また次の計画を策定する時に整備できるようにしたいと思います。</p>
会長	<p>この調査全体として、どの年代の人を重点対象とするかによって事業が変わってくると思うので、年代や性別についてもしっかり把握していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>次に「(3) 青梅市自殺総合対策計画（素案）について」を事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>～資料3について説明～</p>
会長	<p>前回郵送していただいた物からの変更点はどの辺でしょうか。</p>
事務局	<p>大きな変更はありませんが、表現の仕方等の調整はしております。</p>

委員	30%以上減少させると書いてあるが、その根拠は何ですか。
事務局	国の「自殺総合対策大綱」における目標と同じにしております。
委員	「多様な窓口において多重債務の状況を早期に捉える」とあるが、専門の相談機関に行くと有料の場合が多いと思います。そのあたりの記載はどこかにありますか。
委員	この計画作りと併せて、庁内連絡会議があります。また、啓発の部分で、ゲートキーパーという役割を啓発しています。自殺に関連する支援の取っ掛かりとして、色んな悩みを抱えている人が窓口に来たら、まずはそこでキャッチし、具体的な対策ができるところに繋ぐということを考えているので、この自殺総合対策計画の担当課の業務には、適切なところに繋ぐことも含まれています。
会長	保健所の方もこの計画の策定に関わっているということで、今お答えいただきました。庁内連絡会議があつて、そこで取りこぼさないようにするという体制はどこかに記載されていますか。
委員	趣旨のところに、取りこぼさないようにしましょうという記述があっても良いと思います。
健康課長	生活福祉課ではすでに専門のワーカーが配置されていて、相談があつた場合には関連する部署に御案内するという連携をとっています。それ以外のところで相談があつた場合には、関係各課で調整したうえで御案内していると聞いております。
委員	一部が知っていて一部が知らないということは、役所に限らず他の組織でもよくあることですが、自殺に関しては取りまとめをする「キーパー」のような存在が必要だと思います。また、それを「一丸となって実施していますよ」という意思表示をしていくことも必要だと思います。
会長	「パーソナルサポート」という言葉が自殺対策のなかであります。窓口があつても当事者だけではたどり着けないという現状に対し、一緒に動いてくれる人がいないと難しいです。自殺対策だけでなく他の事業にもあてはまることです。

健康課長	<p>そういった役割を担ったワーカーが、生活福祉課の窓口で相談に応じていて、相談の中で不安な案件があった場合には、一緒に動いて関連する部署と連携していると聞いております。</p>
会長	<p>ぜひその姿勢を書き込んでいただければと思います。他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>この計画の基準となっている自殺者数には、青梅市に来て自殺してしまっている人も含まれていますよね。ネットとかで検索して見つけるんでしょうけど、青梅市が「自殺の名所」と言われているので、そのイメージをなくすことも重要だと思います。</p>
健康課長	<p>先ほどの説明にもありましたプロフィールというものが国から提示されていて、青梅市の独自の情報はわかっているんですが、計画のなかでそこまで含めるのは難しいと思います。自殺には「発見地」と「市民」という区分がありまして、「発見地」だと市外の方であり、今回の計画で目標としているのは「市民の方」の自殺者数を減らすこととしております。</p>
事務局	<p>21 ページをご覧くださいと、「居住地と発見地別の自殺者数比較」という表がございまして、居住地だと 26 人で発見地だと 40 人亡くなっており、市外から 14 人の方が青梅市に来て亡くなっていることがわかります。</p>
副会長	<p>青梅市の市民の方が住居地で自殺されていると考えているんですか。</p>
事務局	<p>必ずしもそうとは限らないはずです。</p>
委員	<p>独自に調べたところ、市民の方は青梅市内で自殺していることが多いようです。ただ、市民の方が奥多摩に行かれたりということももちろんあります。</p> <p>また、青梅市と奥多摩町は計画を作る前から自殺が多い地域と言うことがわかっていたので、橋りょうの対策会議をしていたり、J R の駅に看板を設置したり、橋の欄干をかさ上げをする等の対策をしていただいております。</p>
委員	<p>一つお聞きします。住民への周知ということで、33 ページに「SNS 相談の周知を行う」とありますが、子どもや若者に対する支援ということでこれからどんどん利用されるのかなと思います。この周知というのは、ホームページや広</p>

	<p>報で案内するのでしょうか。</p>
事務局	<p>その通りです。すでに東京都では 24 時間体制での相談を実施しているようですが、青梅市単体で同様の体制を整備するのはなかなか難しいので、東京都や民間事業主等が実施している内容については情報収集し、周知の方法を検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>よく NPO 法人でも実施していると聞きますが、東京都でもやっているということですね。東京都から青梅市にどういった流れで情報が来るのでしょうか。</p>
副会長	<p>東京都から我々医療機関にはポスター等の啓発物が送られてきたりするので、相談窓口の連絡先が記載されているものを待合室に貼って周知しています。</p>
委員	<p>SNS では 1 ヶ月に 10,000 人以上の相談があるということで聞いたんですが、青梅市からの発信者がいた場合に、青梅市がどう対応するのか、東京都からどんな情報提供があるのか気になります。</p>
委員	<p>それについては、自殺対策のネットワークが作られていて、色んな機関にどんな窓口でどんな相談を受け付けているのかのネットワーク化が図られております。ただ、SNS については始まったばかりなので、そこでキャッチされた相談者へどう動くかはわかりませんが、「いのちの電話」や精神保健相談の部分で、ご本人の了解を得たうえで担当課に繋ぐということもしております。</p> <p>また、自殺未遂で救急に運ばれてくる方にも、住所地に連絡が行くような仕組みも作られています。こういった会議の場でも、この仕組みについて広めていければなと思います。</p>
会長	<p>東京都では、子どもや若者向けの SNS 相談をモデル事業として今年度スタートしたんですね。かなりの数の相談があったみたいですが、その相談を受ける人は支援の専門職を配置しているようです。その中でも、住所地に繋いだ方が良い判断された案件を住所地に繋いだという報告は何件かあったみたいなので、そのことを市民の方に知っていただくとすることが重要ななと思います。他に何かありますか。</p>
委員	<p>現在自治会において、災害時の要支援者対策をやっております。先日も民生委員や自治会長等と災害対策のプロジェクトチームを作り、名簿に載っていて</p>

	<p>個人情報公開しても良いと言っている人のところをまわりましたが、実態として自治会加入者はほんのわずかで、80%近くが自治会未加入の方でした。さらに高齢者の割合が多く、お独りで住んでいる方が半分くらいで、何かあった時に頼れる人がいないというケースがほとんどでした。この場合、孤独死なのか自殺なのかかわからないこともあると思います。最終的には法医学等で判断するのですが、こういった基準で判断しているのか、もしわかれば教えてください。</p>
<p>会長</p>	<p>ドクターの診断がない場合、「異常死」という扱いで、必ず検死されます。多摩地域でも何か所か検死を受け入れている病院があるので、そこへ運ばれて調べることになります。</p>
<p>副会長</p>	<p>青梅市では野本先生がやられています、年間で1,000件ほどあるみたいです。</p>
<p>会長</p>	<p>少し前のデータですが、23区内の異常死を管轄している監察医務院の調査研究で、圧倒的に男性の方が見つかるまでに日数がかかっているそうです。女性は、概ね2日以内に誰かが発見しているそうですが、男性の場合は、推定死亡日から発見されるまで長いケースが多く、長くて50日経過している場合もあるそうです。これは必ずしも高齢者だけでなく、40代や50代でも多いみたいで、自治会の方が災害対策で見まわってくださると、気づきに繋がるのでとても良い取り組みだと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>次に「(4) その他」について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>～追加資料1について説明～</p>
<p>会長</p>	<p>来年度の会議は4回開催されるとのことですので、また皆さんで頑張っていきたいと思います。</p>
<p>健康課長</p>	<p>議題の(1)「青梅市健康増進計画にかかる取組状況調査について」で保留になっていた件については何かわかりましたでしょうか。</p> <p>高齢介護課にお聞きしたところ、毎年2月時点で65歳以上の方の数で対象者を把握しているとのこと。ただ、今年度についてはまだ出せていないようですが、先ほど御質問いただいた発行者については、日帰りであれば時間をいただければ出せるとのこと。件数自体は1人6回ということを出せるん</p>

健康課長	<p>ですが、実際に発行したものを利用したかについては、件数が多くて把握しきれいでないの、時間をいただければ把握することはできるとのことでした。今後については、必要であれば日帰りの件数を記載するよう高齢介護課に検討するよう依頼していきたいと考えております。</p> <p>(5) 閉会</p> <p>それでは、これもちまして本日の健康増進計画推進会議を終了させていただきます。お忙しい中、御出席いただきありがとうございました。</p> <p>終了</p>
------	---